

充電スタンドE-CHAの魅力

日本システムバンク株式会社 顧問
金沢工業大学 産学連携コーディネータ
吉岡 芳夫

車の電気化は世界の潮流である。原油枯渇、CO₂増加、全地球的な異常気象。車の電気化は地球環境保全に大きく貢献できる主役である。自動車メーカーの先行争いで、EV、PHV車の普及は予想以上に早まることが確実にようになってきた。その中で本命は遠出もできるPHV車。メリットはなんととっても安い電気代（ガソリンの1/4）と最小限のガソリン消費である。燃料が切れそうになったらガソリンスタンドで満タンにするのは過去の話で、電気で動くEV、PHV車は継ぎ足し充電するのが普通の方法である。そして継ぎ足し充電にぴったりの場所が駐車場なのである。ちなみに、EV車なら2時間の駐車中充電で45kmも走行距離を延ばすことができる。PHV車なら1時間でフル充電になる。さらにユーザーにとって有難いのは、EV、PHV車の充電電気代は1時間充電でたったの75円にしかならないことである。したがって、これからはすべての駐車場に充電装置が設置されることになるだろう。

では、どのような充電スタンドを設置するのが良いのであろうか？ 望まれるのは、安いだけのコンセントより、使いやすい安全な充電スタンドである。なかでも安全は最大の訴求点となる。当社が開発した普通充電スタンドE-CHAは、EV、PHVとケーブルが繋がったときのみ充電が始まるようにした点で、接続作業はいつでも無電圧でできるのが特徴である。つまり、雨の中でも感電の恐れがない。勿論特許出願中の技術である。特徴はほかにもある。E-CHAは、一基で2台の車に充電ができるので経済的でもある。充電操作も簡単である。E-CHAは、CPへの設置を主体に設計したので拡張可能な充電システムである。少々ぶつかっても変形しない強くスマートなステンレス製のスタンド躯体になっている。設置費用としては、充電スタンド本体、据付および電力工事が掛かるが、月々にすれば1万円未満のわずかな投資である。

駐車場に充電スタンドE-CHAを設置したときの駐車場オーナーさんのメリットは、車の電気化への貢献という大義名分だけではない。充電に来るEV、PHV車は長い時間駐車してくれる。稼働率の悪かった夜間の駐車も増える。充電電気量はわずかであるが、駐

車時間料金を少し設定変更するだけで、収益をあげることができる。充電駐車場の適地も広がる。マンション、アパート周辺には、充電駐車場新設の大きなニーズがある。ゲート式大型駐車場、大規模ショッピングセンター駐車場にも、充電エリア新設のニーズがある。駐車場への充電スタンドの設置には、車の電気化に貢献しながら、駐車場ビジネスを拡大し、収益を上げることができるという大きな魅力がある。

平成 22 年 8 月